



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,814	1.3	220	58.6	350	45.3	205	49.1
29年3月期第2四半期	10,671	3.8	532	10.2	640	12.9	403	12.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 629百万円 (65.7%) 29年3月期第2四半期 379百万円 (20.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.60	
29年3月期第2四半期	26.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	44,573	37,002	83.0
29年3月期	44,721	36,599	81.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 37,002百万円 29年3月期 36,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		15.00	30.00
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	3.8	550	39.2	760	31.9	400	34.4	26.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,732,000 株	29年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	660,909 株	29年3月期	660,849 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,071,094 株	29年3月期2Q	15,071,231 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界および住宅機器関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年と概ね同数となり、底堅く推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、管工機材分野における住環境改善製品および災害対応製品の拡販が進み売上高の伸びを牽引したものの、主要な原材料である樹脂価格の値上げ等の影響により利益は減少いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は108億14百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益2億20百万円(同58.6%減)、経常利益3億50百万円(同45.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億5百万円(同49.1%減)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①管工機材分野

管工機材分野におきましては、「量水器ボックス」や「グリーストラップ」等付加価値の高い住環境改善製品や新規事業分野製品である「エモータブル」を中心に販売を推し進め、セグメント全体で売上高は増加した一方で、主要な原材料である塩化ビニル樹脂の値上げ等の影響により利益は減少いたしました。

新規事業分野製品である災害対応製品「エモータブル」およびビル設備対応製品「ビニコア」については、採用実績を着実に重ね販売は拡大傾向であるものの、計画通りの業績を上げるには至っておりません。

以上により、売上高98億97百万円(前年同四半期比2.0%増)、セグメント利益は3億65百万円(同43.4%減)となりました。

②水処理分野

水処理分野におきましては、低コスト・省エネルギー化を実現する排水処理システム「アジティス」をはじめとする多様な水処理システムの積極的な提案活動を行ってまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、大型物件の売上が無く、売上高・利益ともに減少いたしました。

以上により、売上高は1億34百万円(前年同四半期比33.7%減)、セグメント損失は95百万円(前年同四半期は、87百万円のセグメント損失)となりました。

③各種プラスチック成形分野

各種プラスチック成形分野におきましては、部材を納入していた顧客のプラスチック製品の生産終了や販売不振をカバーすべく、新規の受注獲得に努め売上高については増加したものの、大口顧客向けの製品に関する原材料樹脂の値上げ等の影響により、利益は減少いたしました。

以上により、売上高は9億9百万円(前年同四半期比10.4%増)、セグメント損失は48百万円(前年同四半期は、25百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ1億47百万円減少し、445億73百万円となりました。これは主として、現金及び預金や投資有価証券が増加したものの、有価証券や有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ5億51百万円減少し、75億71百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が増加したものの、その他に含まれている未払消費税等や未払金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億3百万円増加し、370億2百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は77億84百万円となり、前年同四半期と比べ99百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億3百万円の収入となりました(前年同四半期は20億21百万円の収入)。これは主に、売上債権の減少による資金増加が減少したことやその他に含まれる未払消費税等の減少による資金減少が増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億11百万円の収入となりました(前年同四半期は25億73百万円の支出)。これは主に、有価証券の償還による収入が増加したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億28百万円の支出となりました(前年同四半期は2億28百万円の支出)。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表しました業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,097	9,784
受取手形及び売掛金	5,798	5,853
電子記録債権	2,750	2,634
有価証券	2,313	1,405
商品及び製品	2,174	1,992
仕掛品	588	702
原材料及び貯蔵品	595	723
繰延税金資産	264	248
その他	547	664
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,129	24,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,953	12,983
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,756	△5,982
建物及び構築物(純額)	7,196	7,001
機械装置及び運搬具	12,261	12,348
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,101	△10,363
機械装置及び運搬具(純額)	2,160	1,984
工具、器具及び備品	17,940	17,968
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,565	△17,604
工具、器具及び備品(純額)	374	363
土地	4,543	4,543
建設仮勘定	204	68
有形固定資産合計	14,479	13,961
無形固定資産		
ソフトウェア	365	322
その他	2	2
無形固定資産合計	368	325
投資その他の資産		
投資有価証券	5,066	5,656
その他	827	772
貸倒引当金	△150	△149
投資その他の資産合計	5,743	6,279
固定資産合計	20,591	20,565
資産合計	44,721	44,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,584	3,470
電子記録債務	132	137
短期借入金	500	500
未払法人税等	286	219
賞与引当金	405	395
役員賞与引当金	42	5
その他	2,221	1,764
流動負債合計	7,173	6,493
固定負債		
繰延税金負債	265	402
退職給付に係る負債	400	390
資産除去債務	210	211
その他	72	72
固定負債合計	948	1,077
負債合計	8,122	7,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,777	26,756
自己株式	△750	△750
株主資本合計	35,777	35,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,031	1,439
退職給付に係る調整累計額	△209	△193
その他の包括利益累計額合計	821	1,246
純資産合計	36,599	37,002
負債純資産合計	44,721	44,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,671	10,814
売上原価	7,170	7,612
売上総利益	3,501	3,202
販売費及び一般管理費	2,969	2,982
営業利益	532	220
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	42	43
受取賃貸料	44	44
投資事業組合運用益	1	12
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	27	34
営業外収益合計	118	140
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	4	4
支払手数料	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	9	9
経常利益	640	350
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	7	2
減損損失	3	0
ゴルフ会員権評価損	—	0
リース解約損	0	—
特別損失合計	13	2
税金等調整前四半期純利益	628	350
法人税、住民税及び事業税	211	177
法人税等調整額	13	△31
法人税等合計	225	145
四半期純利益	403	205
親会社株主に帰属する四半期純利益	403	205

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	403	205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	408
退職給付に係る調整額	22	15
その他の包括利益合計	△23	424
四半期包括利益	379	629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379	629

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	628	350
減価償却費	818	822
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10	△10
退職給付費用	33	23
受取利息及び受取配当金	△44	△47
支払利息	1	1
固定資産売却損益 (△は益)	0	△2
固定資産除却損	7	2
ゴルフ会員権評価損	-	0
減損損失	3	0
リース解約損	0	-
売上債権の増減額 (△は増加)	570	66
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△354	△59
仕入債務の増減額 (△は減少)	258	△118
その他の資産の増減額 (△は増加)	△140	△43
その他の負債の増減額 (△は減少)	△211	△66
その他	472	△329
小計	2,007	541
利息及び配当金の受取額	45	49
利息の支払額	△1	△1
賃貸料の受取額	34	34
リース解約金の支払額	△0	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△63	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,021	403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	△2,000
定期預金の払戻による収入	2,000	2,000
有価証券の取得による支出	△2,400	△4,000
有価証券の償還による収入	2,400	4,900
有形固定資産の取得による支出	△1,719	△402
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△154	△10
投資有価証券の取得による支出	△703	△3
その他	3	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,573	511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,300	3,000
短期借入金の返済による支出	△3,300	△3,000
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△225	△225
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△228	△228
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△780	687
現金及び現金同等物の期首残高	8,663	7,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,883	7,784

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	9,706	202	762	10,671	—	10,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	61	61	△61	—
計	9,706	202	823	10,732	△61	10,671
セグメント利益又は 損失(△)	645	△87	△25	532	△0	532

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	2	1	—	—	3

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	9,897	134	782	10,814	—	10,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	127	127	△127	—
計	9,897	134	909	10,941	△127	10,814
セグメント利益又は 損失(△)	365	△95	△48	221	△1	220

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	—	0	—	—	0